

記録区分番号：EMW630013
作成日：2018年5月31日

2017年度
環境活動レポート
(2017年4月1日～2018年3月31日)



白山商事株式会社

ISO26000認証・登録番号 0001382

環境方針

環境理念

白山商事株式会社は、地球環境問題への取組が当社の果たすべき重要課題と認識し、全ての事業活動を通じて環境への負荷を軽減することに努め、社会に貢献します。

行動方針

1. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、以下の環境目的を定めて全構成員で環境保全活動を推進します。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の抑制
 - (3) 節水
 - (4) グリーン購入の促進
2. 環境に優しい商品の販売を促進します。
3. 環境保全活動を推進するために、環境マネジメントシステムを構築し、このシステムを定期的に見直し、継続的改善に努める。
4. 環境関連法規制及び契約を遵守します。
5. 全従業員に環境方針を周知徹底し、継続的に環境教育を実施することにより環境保全意識の向上に努めます。
6. 地域社会の一員として、環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

2003年6月1日(制定)

2013年7月1日(改定)

白山商事株式会社
代表取締役社長 山本廣明

目 次

1	当社の概要	<hr/>
2	環境活動組織図	<hr/>
3	環境活動の責任と権限	<hr/>
4	環境目標及び達成	<hr/>
4-1	目標達成状況（2017年度）	<hr/>
4-2	直近3年間達成状況の推移（2015年度～2017年度）	<hr/>
4-3	中期目標値（2017年度～2019年度）	<hr/>
5	2017年度 環境目標達成のための活動	<hr/>
6	2017年度環境活動の取組結果と評価	<hr/>
6-1	目標達成の結果と評価	<hr/>
6-2	その他の取組状況	<hr/>
7	2017年度 環境活動の取組内容	<hr/>
8	関連法令法規への違反の有無	<hr/>
9	訴訟等の有無	<hr/>
10	代表者による全体評価と見直し結果	<hr/>
付	環境配慮型商品の紹介	<hr/>

1 当社の概要

事業者名：白山商事株式会社

URL:<http://www.hakusanshoji.co.jp>

所在地：（本社）東京都豊島区南池袋1丁目10番13号荒井ビル6階

（物流センター）東京都品川区勝島1丁目4番11号東京倉庫(株)勝島倉庫317号棟

代表者：山本 廣明／代表取締役社長

環境管理責任者：八代 健司／営業本部 特機営業部長

環境担当者：森田 義和／総務部長（環境委員会事務局）

連絡先：電話番号（03）5958-9411

FAX 番号（03）5958-9415

E-mail：morita@hakusanshoji.co.jp

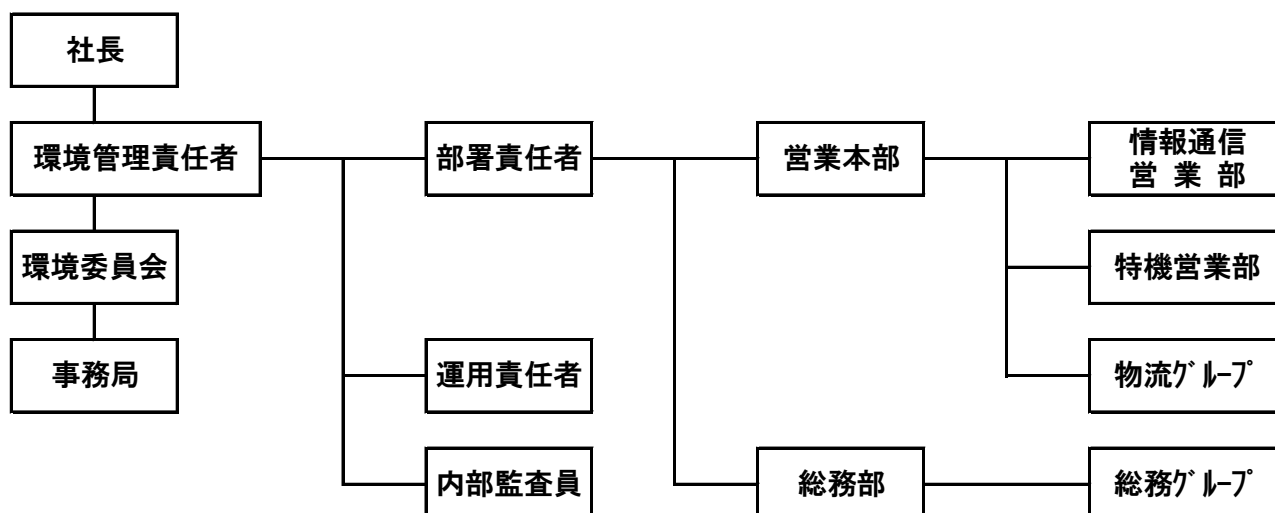
事業内容：通信機器類・金属圧接溶接機等の販売

事業規模

事業年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高（百万円）	1,207	1,193	1,079
従業員数	22	23	22
・本社	20	21	20
・物流センター	2	2	2
延床面積（m ² ）	420	420	420
・本社	195	195	195
・物流センター	225	225	225

（注）当社は3月決算。2017年度は「2017年4月1日から2018年3月31日」まで。

2 環境活動組織図



3 環境活動の責任と権限

社長	① 環境マネジメントシステムの最高責任者
	② 環境方針の決定
	③ 環境管理マニュアルの承認
	④ 環境管理責任者の任命
	⑤ 環境委員会の委員を任命
	⑥ 環境マネジメントシステムの評価と見直し
環境管理責任者	① 環境マネジメントシステムの確立、運用、維持及び改善
	② 環境管理マニュアルの審議
	③ 「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」リスト作成
	④ 環境活動レポート作成
	⑤ 「環境活動計画表」の承認
	⑥ 環境目標達成状況の承認及び不適合扱いの決定
	⑦ 教育訓練計画及び結果の承認
	⑧ 内部監査計画及び監査結果の承認
	⑨ 内部監査員の任命
	⑩ 環境経営システムの評価用資料の作成と社長への報告
	⑪ 手順書の承認
部署責任者	① 部署内への環境マネジメント活動の周知
運用責任者 (共通)	① 目的・目標の達成手段の立案
	② 目的・目標の周知と徹底
	③ 環境活動計画の作成
	④ 3ヶ月毎の達成状況について環境管理責任者に報告
	⑤ 教育訓練の実施と報告
	⑥ 不適合の是正処置についての立案・実施・報告
環境委員会	① 環境マネジメントシステムに関する基本計画の策定
	② 環境管理マニュアルの制定・改訂の審議
	③ 環境負荷の特定
	④ 環境目標の設定
	⑤ 環境活動計画表の審議
	⑥ 環境目標の達成状況についての審議
	⑦ 教育訓練計画の審議と教育担当者の決定
	⑧ 環境活動レポートの審議
	⑨ 内部監査報告書の審議
	⑩ 運用責任者の決定
	⑪ 環境マネジメントシステム見直し評価の社長指示を受け、具体策の審議
事務局	① 環境文書及び環境記録の保存
	② 公開すべき環境文書及び環境記録のHAKUSAN-NET（社内用Web）への掲載
	③ 環境委員会議事録の作成・保管
内部監査員	① 内部監査を実施し、結果を的確に評価し、環境管理責任者に報告
	② 監査事項のための被監査対象への必要な資料提供及び説明の請求
構成員	① 環境に関する業務の実行

4 環境目標及び達成

4-1 目標達成状況（2017年度）

項 目		目 標	実 績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,000	21,534	93%
	物流センター	3,200	2,923	109%
	電気使用量 kwh/年	23,200	24,457	95%
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	11,275	11,886	95%
廃 棄 物 排 出 量	本社	98.0	88.4	111%
	物流センター	50.0	40.2	124%
	可燃ごみ kg/年	148.0	128.6	115%
	本社	58.0	58.0	100%
	物流センター	20.0	15.9	126%
	不燃ごみ kg/年	78.0	73.9	106%
水使用量	水使用量 m ³ /年	15.0	10.0	150%
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	71.0	60.0	85%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	51,000	65,410	128%
紙使用量削減	北用紙使用量 kg/年	231	259	89%
	段ボール使用量 kg/年	293	246	119%

※1) 達成率＝目標／実績

※2) 二酸化炭素・実排出係数は「2017.8 東京電力パワーグリッド報告：”0.486（t-CO₂/kWh）”」を使用

【目標設定の根拠】

- ・二酸化炭素排出量は、前々年度に本社事務所移転を行った後「移転後2度目の通年目標」となった。目標値は、本社分、物流センター共に前年度実績並みとした。
- ・廃棄物排出量については、前々年度に実績が従来より増加したものの、原因が事務所移転時の引越しによるものであったため、2017年度目標値は従来と同じレベルで策定を行った。
- ・その他の項目（水使用量、グリーン購入、環境配慮商品販売促進、紙使用量）は、従来目標レベルを維持した。

【実績】

- ・廃棄物排出量（可燃ごみ、不燃ごみ）、水使用量、環境商品の販促では、目標を達成した。
- ・紙の使用量は、昨年度に引き続き、北用紙使用量が目標未達だった。アルミ端子拡販の為のプレゼン資料、レールガスの取扱説明書のコピー等で使用量が増加した事が原因である。一方、段ボールの使用量では、目標を達成することが出来た。
- ・環境に優しい商品の販売促進では、ハイブリッド溶接機の販売があり、目標を達成することが出来た。

4-2 直近3年間達成状況の推移（2015～2017年度）

項 目		2015年度			2016年度			今年度（2017年度）		
		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,700	18,199	114%	22,200	19,013	117%	20,000	21,534	93%
	物流ﾂﾀ	3,200	3,112	103%	3,200	2,947	109%	3,200	2,923	109%
	電氣使用量 kwh/年	23,900	21,311	112%	25,400	21,960	116%	23,200	24,457	95%
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	11,950	10,656	112%	12,700	10,980	116%	11,275	11,886	95%
廃 棄 物 排 出 量	本社	130.0	128.5	101%	98.0	97.0	101%	98.0	88.4	111%
	物流ﾂﾀ	50.0	39.4	127%	50.0	45.8	109%	50.0	40.2	124%
	可燃ごみ kg/年	180.0	167.9	107%	148.0	142.8	104%	148.0	128.6	115%
	本社	17.7	17.4	102%	14.4	13.8	104%	58.0	58.0	100%
	物流ﾂﾀ	25.0	11.6	216%	20.0	15.0	133%	20.0	15.9	126%
	不燃ごみ kg/年	42.7	29.0	147%	34.4	28.8	119%	78.0	73.9	106%
水使用量	水使用量 m ³ /年	15.0	12.0	125%	15.0	11.0	136%	15.0	10.0	150%
ｸﾞﾘｰﾝ購入	事務用消耗品購入額比 %	70.5	81.1	115%	70.5	74.6	106%	71.0	60.0	85%
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	49,000.0	46,437.0	95%	50,000	43,720	87%	51,000	65,410	128%
紙使用量削減	正用紙使用量 kg/年	212.0	252.0	84%	231	211	109%	231	259	89%
	段ボール使用量 kg/年	306.0	286.0	107%	299	252	119%	293	246	119%

※1) 二酸化炭素・実排出係数は「2017.8 東京電力ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ-ﾂﾀ-報告：”0.486 (t-CO₂/kWh)”」を使用

4-3 中期目標値（2018年度～2020年度）

項 目		今年度実績	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素 排 出 量	本社 kwh/年	21,534	20,000	20,000	20,000
	物流ﾂﾀ kwh/年	2,923	3,200	3,200	3,200
	電気使用量計 kwh/年	24,457	23,200	23,200	23,200
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	11,886	11,275	11,275	11,275
廃 棄 物 排 出 量	本社 kg/年	88.4	現 状 維 持 (※)		
	物流ﾂﾀ kg/年	40.2			
	可燃ごみ計 kg/年	128.6			
	本社 kg/年	58.0			
	物流ﾂﾀ kg/年	15.9			
	不燃ごみ計 kg/年	73.9			
水使用量	水使用量 m ³ /年	10.0	15.0	15.0	15.0
グリーン購入	事務用消耗品購入額比 %	60.0	71.5	72.0	72.5
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	65,410	70,000	71,000	72,000
紙使用量削減	北 [°] -用紙使用量 kg/年	259	241	241	241
	段ﾎﾞｰﾙ使用量 kg/年	246	287	281	275

- ① 二酸化炭素排出量⇒電気使用量は、本社事務所移転後の通年のデータを2か年に渡り取得できたため、その結果に基づき策定した（本社）。
- ② 廃棄物排出量削減の意識は浸透しており、今年度からは目標設定から除く事とした。
 ※2年前本社移転に伴い、ビル管理会社が廃棄物を処分するため、計測が困難となり、今後目標値設定はせず、現状維持を継続するとともに分別確認パトロールも継続する。
- ③ 水使用量は、15.0m³の維持継続とした。
 （本社はテナントビルで把握できないため、物流センターのみとする。）
- ④ グリーン購入は、昨年度立案の中期目標（毎年0.5%アップ）を維持した。
- ⑤ 環境に優しい商品の販売促進は、昨年度は目標を達成しており、昨年度実績ベースから2018年度の目標を設定した。特に重要テーマとして捉え、中期目標では毎年100万円ずつアップとした。
- ⑥-1 紙使用量削減・北[°]-用紙は、前年度目標値を大幅に上回ったため、拡販の為にプレゼン資料分を上乗せした計画としたが、前年度実績からは7%削減する計画とした。
- ⑥-2 紙使用量削減・段ﾎﾞｰﾙは、前年度目標（2%ずつ削減）維持で策定した。

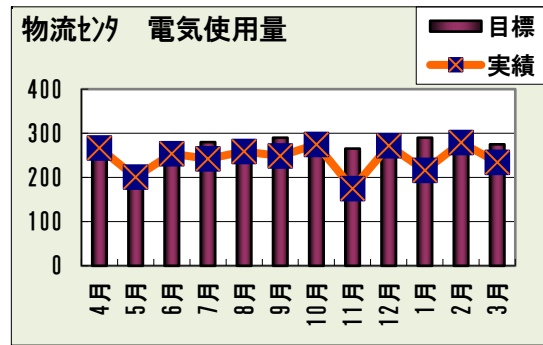
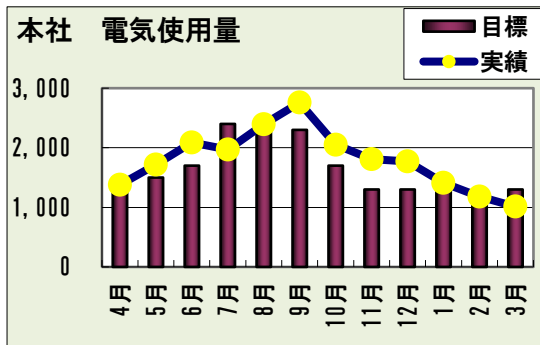
5 2017年度実施した環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>IT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃を基本とする</p> <p>冷房使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社、センター）</p> <p>クールビズ、ウォームビズの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物 排出量削減	可燃ごみ排出量の削減	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p>
	不燃ごみ排出量の削減	<p>飲料缶、ペットボトルの社内排出禁止</p> <p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p>
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
グリーン購入	グリーン購入の促進	グリーン対象品かどうか事前確認し手配
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品にあった箱かどうかを確認しあう</p>

6 2017年度 環境活動の取組結果と評価

6-1 目標達成の結果と評価

【1】 二酸化炭素排出量の削減 ⇒ 電気使用量の削減



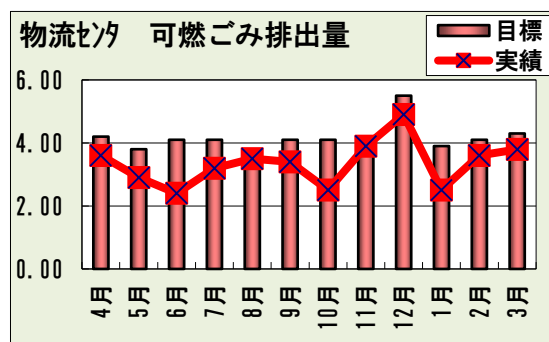
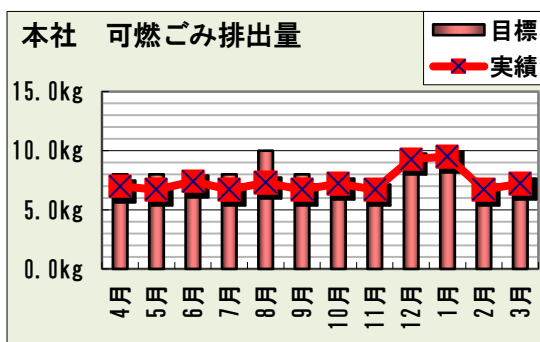
2017年度目標	2017年度実績
20,000 kWh	21,534 kWh
9,720 kg-CO ₂	10,466 kg-CO ₂
達成率 93 %	

2017年度目標	2017年度実績
3,200 kWh	2,923 Wh
1,555 kg-CO ₂	1,421 kg-CO ₂
達成率 109 %	

【評価】

夏季I77)使用時では、ほぼ計画通りの推移であったが、冬季(特に11月、12月)に気温が低く、暖房によるI77)使用が増し、電気量は目標を大きく上回った。前年は新ビルで冬暖かい建物との分析をしたが、今年は分析結果を否定する結果となった。2017年度はこの結果に基づき目標値を設定したが、冬の寒さに負ける結果となった。セクは建物環境に変化なく、目標を達成しているが、作業環境を配慮した中での節電を意識してほしい。

【2-1】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 可燃ごみ排出量の削減



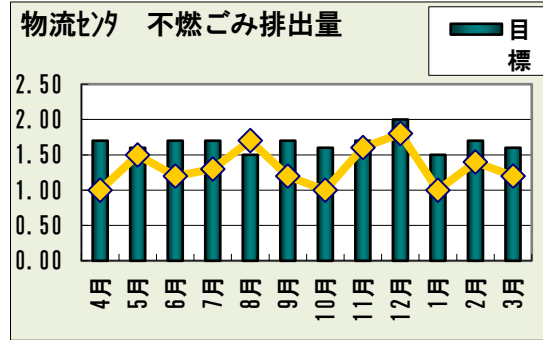
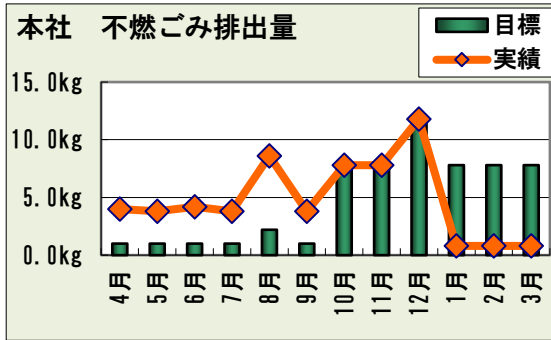
2017年度目標	2017年度実績
98 kg	88.4 kg
達成率 111 %	

2017年度目標	2017年度実績
50 kg	40.2 kg
達成率 124 %	

【評価】

本社、セク共に目標値を達成した。分別(北-用紙、段ホ-ル再利用等)意識が浸透していると判断する。

【2-2】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 不燃ごみ排出量の削減



2017年度目標	2017年度実績
58 kg	58 kg
達成率 100 %	

2017年度目標	2017年度実績
20 kg	15.9 kg
達成率 126 %	

【評価】

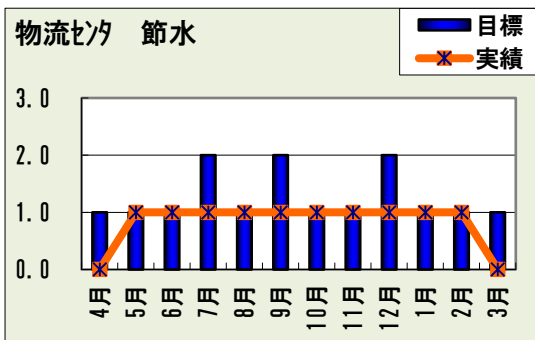
本社、セクタ共に目標値を達成したが、本社では、上期に目標を大幅に上回ってしまったため、目標値の再設定を行ったものの、目標達成が困難な状況となった。第4四半期に、排出禁止令を発し、何とか達成率100%で終了し、目標を達成させる意識の高さが伺えた。

【2-3】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 資源ごみ指定物100%回収

【評価】

全社でルールが守られ、指定資源ごみは100%の回収（再利用化含む）を達成した。

【3】 水使用量の削減

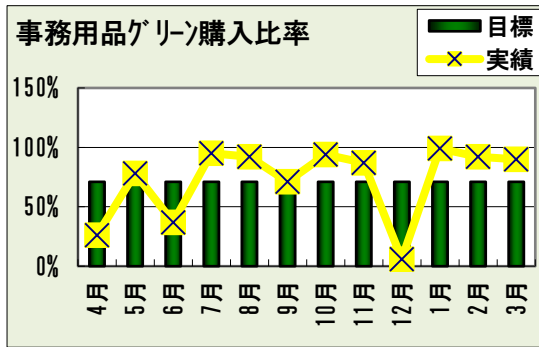


2017年度目標	2017年度実績
15 m ³	10 m ³
達成率 150 %	

【評価】

意識向上、節水方法定着により、目標を達成した。

【4】グリーン購入の推進

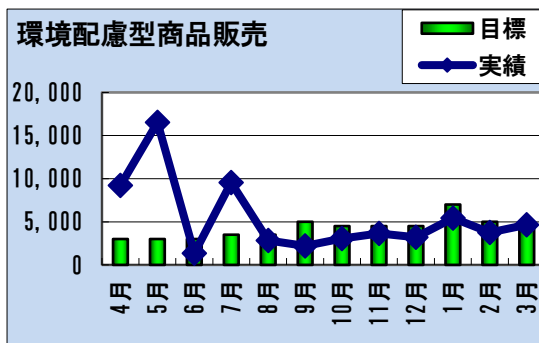


2017年度目標	2017年度実績
71 %	60 %
達成率 85 %	

【評価】

突発的な非グリーン品の購入（ウレシ対策ワと給与ワ）があり、未達の状況となった。これを除くと目標通りの実績であり、着実に定着しつつある。

【5】環境に優しい商品の販売促進

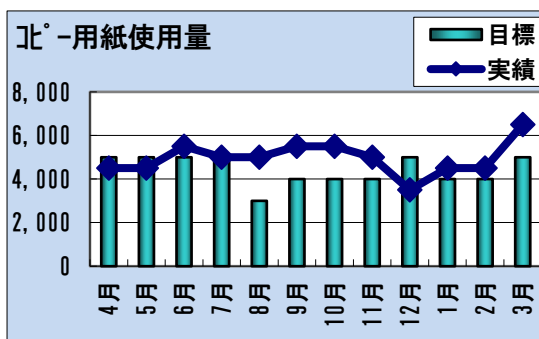


2017年度目標	2017年度実績
51,000千円	65,410千円
達成率 128 %	

【評価】

ハイブリッド溶接の販売があり、目標達成となった。2018年度以降には、アルミ線用端子の上市を予定していて、環境活動の中で中心的な項目としていく予定です。

【6-1】省資源紙使用量の削減 ⇒ 北^レ-用紙使用量の削減

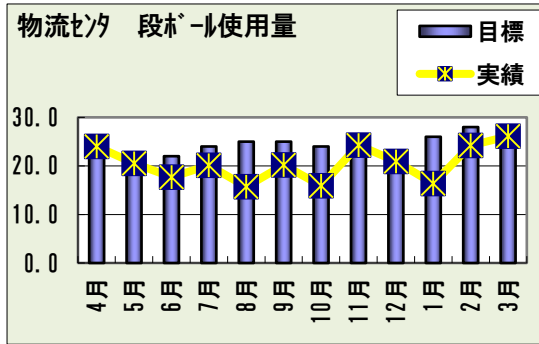


2017年度目標	2017年度実績
231 kg	259 kg
達成率 89 %	

【評価】

年度中盤に目標値を超えてしまったが、アルミ端子拡販の為のプレゼン資料と、レールガス圧接機の取扱説明書のコピーにより、換回が不可能な状況となった。2018年度は、拡販の為のプレゼン資料用として、2,500枚を上乗せした目標とする。（2017年度実績に対しては、7%の削減が必要。）

【6-2】省資源紙使用量の削減 ⇒ 段ボール使用量の削減



2017年度目標	2017年度実績
293 kg	246 kg
達成率 119 %	

【評価】

使用済み段ボールの効率的な再利用、簡易包装（紙製袋）の活用を徹底し、年間目標を達成した。

6-2 その他の取組状況

【出荷用トラックからの二酸化炭素排出量削減】
 運送委託業者への指導事項は昨年同様実施し、特にアイドリングストップの励行に付いての要請を行っている。今後も引き続き監視を行う。

運送委託業者のトラックの【窒素酸化物および粒子状物質（NO_x）のPM基準】
 遵守されていることを確認した。今後も引き続き監視を行う。

7 2018年度実施する環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>基本的なIT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃とする</p> <p>ITの使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社）</p> <p>クーリング、ウォーミングの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物 排出量削減	可燃ごみ排出量の削減 （管理対象外）	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
	不燃ごみ排出量の削減 （管理対象外）	飲料缶、ペットボトルの社内排出禁止
		分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	梱包材料の再利用化
	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。	
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
グリーン購入	グリーン購入の促進	事務用消耗品（グリーン購入対象品）のリスト化
		グリーン対象品があるかどうかの事前確認の実施
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p> <p>全員による積極的PRの実施</p>
紙使用量削減	レター用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品サイズに合わせた包装</p>

8 関連法規への違反の有無

- ・ 当社の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守しております。

法令法規等名称	遵守状況 (確認済：○)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特措法）	○
品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	○
豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	○
特定家庭用機器再商品化法	○
消防法	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○

9 訴訟等の有無

関係機関からの違反等の指摘はなかった。

10 代表者による全体評価と見直し結果、及び今後の活動方針

エコアクション21の活動は10年を経過し、ともすればマンネリになりがちですが、環境に関する提案活動や、環境にやさしい商品の取り扱いを増やし、一部商品にはカーボンオフセットを付加し地球環境保全にも貢献しました。

次年度はエコアクション21ガイドライン2017版に移行するための準備を進めていきます。さらに環境配慮型商品を積極的に取り扱い、事業活動に伴う環境負荷の抑制に努め、これからも持続可能な社会作りに貢献してまいります。

平成30年3月
代表取締役社長 山本 廣明

弊社の環境活動レポートをご覧くださいましてありがとうございます。
環境レポートにも報告しておりますように、弊社では「環境に優しい商品」の販売に努めております。その対象としております商品について、以下に紹介させていただきます。

① ホジボックス（PCB保管箱）

ホジボックスは、特別措置法で規制されています「PCB（Poly Chlorinated Biphenyl＝ポリ塩化ビフェニル）廃棄物」を安全に保管する堅固な容器です（PCB保管箱）。

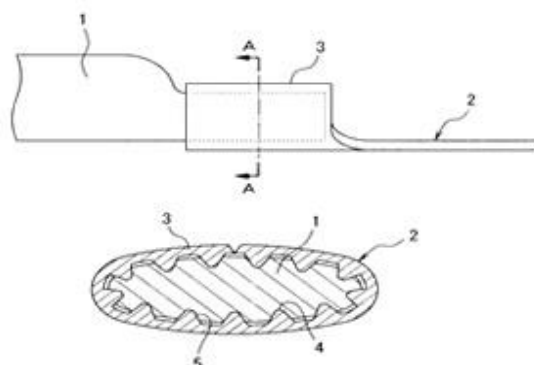


② アルミ電線用接続端子

近年電器業界や自動車業界では、銅価格上昇以外でも「製品重量の軽量化＝省エネ」を目的として銅電線のアルミ化を促進させる動きがあります。しかしアルミ電線の接続には大きな課題（電解腐食、酸化被膜、強度低下、応力緩和）があり実用化阻害の大きな要因となっています。弊社では、これらの課題を解決するアルミ電線用の接続端子技術を販売しております。



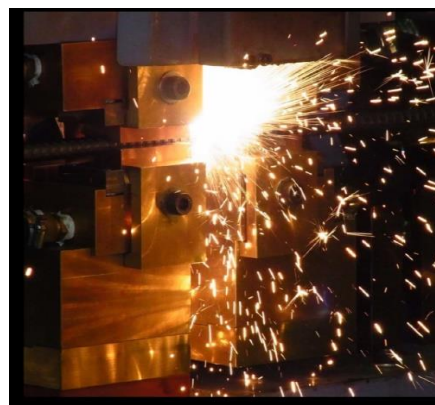
突起セレーション詳細図



③ ハイブリッド溶接機

ビルの鉄筋コンクリート構造とは、引張に強い鉄筋と圧縮に強いコンクリートを組合せたものですが、帯筋を溶接構造の閉鎖型にすることで耐震性を更に高めることができます。近年ビルの高層化に伴い鉄筋には高強度材が多く採用されるようになってきました。

弊社の溶接機は、複合溶接工程（ハイブリッド溶接）方式を採用することで、高強度材鉄筋を高性能（強い接合強度）、高信頼性（安定した品質）、そして経済的（短時間）に溶接することが出来る装置です。



【お電話でのお問合せ先】

03-5958-9411（平日9:00～17:00）

- ① ホジボックス（佐藤）
- ② 汎用電線用接続端子（賀川、森）
- ③ ハイブリッド溶接機（坂本、田中）

土・日・祝・時間外はWEBフォームからお問合せ下さい。

消費電力

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	268	195	230	280	260	290	275	265	270	290	302	275	3200kwh
実績	267	201	254	242	259	249	275	175	272	216	279	234	2923kwh

段ボール使用量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	24.0	21.0	22.0	24.0	25.0	25.0	24.0	25.0	21.0	26.0	28.0	28.0	293.0kg
実績	24.00	20.50	17.70	20.10	15.70	20.20	15.90	24.30	20.90	16.40	24.20	26.10	246.0kg

節水

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	15.0
実績	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	10.0

可燃ごみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	4.20	3.80	4.10	4.10	3.70	4.10	4.10	4.10	5.50	3.90	4.10	4.30	50.0kg
実績	3.60	2.90	2.40	3.20	3.50	3.40	2.50	3.90	4.90	2.50	3.60	3.80	40.2kg

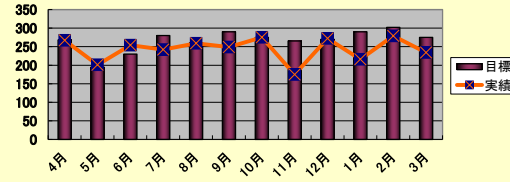
不燃ごみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1.70	1.60	1.70	1.70	1.50	1.70	1.60	1.70	2.00	1.50	1.70	1.60	20.0kg
実績	1.00	1.50	1.20	1.30	1.70	1.20	1.00	1.60	1.80	1.00	1.40	1.20	15.9kg

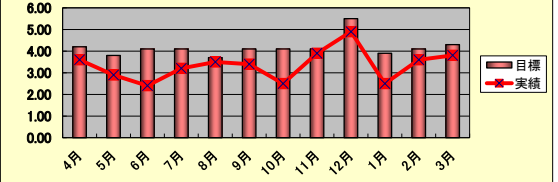
資源ゴミ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
目標	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
実績	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0回

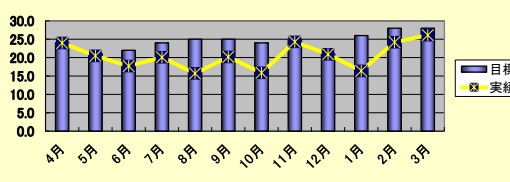
物流センタ 電気使用量(2017年度)



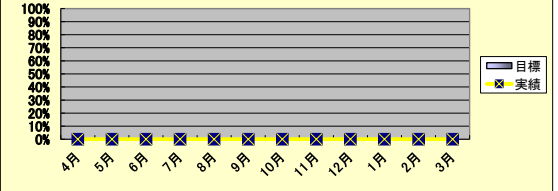
物流センタ 可燃ごみ排出量(2017年度)



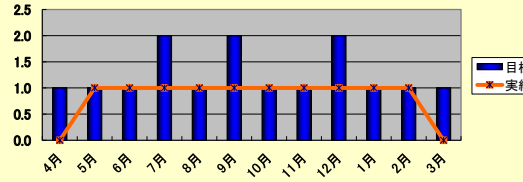
物流センタ ダンボール使用量(2017年度)



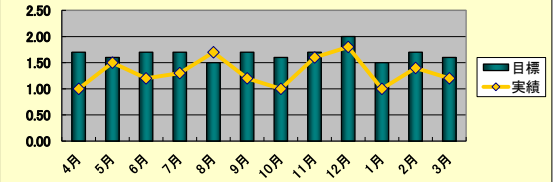
物流センタ 資源ごみ排出量(2017年度)



物流センタ 節水(2017年度)

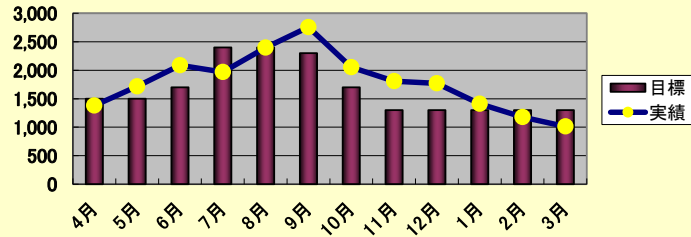


物流センタ 不燃ごみ排出量(2017年度)

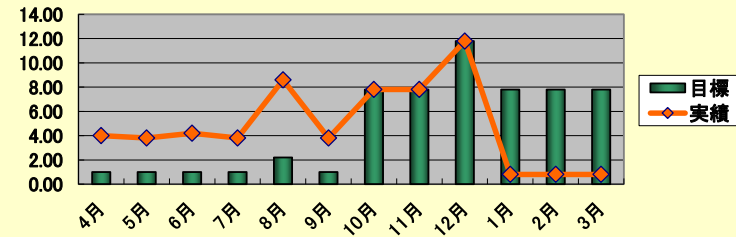


		消費電力												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		1,500	1,500	1,700	2,400	2,400	2,300	1,700	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	20,000kWh
実績		1,378	1,717	2,088	1,969	2,396	2,757	2,051	1,807	1,771	1,409	1,179	1,012	21,534kWh
		コピー用紙												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		5,000	5,000	5,000	5,000	3,000	4,000	4,000	4,000	5,000	4,000	4,000	5,000	53,000
実績		4,500	4,500	5,500	5,000	5,000	5,500	5,500	5,000	3,500	4,500	4,500	6,500	59,500
		環境配慮型商品販売												44,000
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		3,000	3,000	3,000	3,500	3,500	5,000	4,500	4,500	4,500	7,000	5,000	4,500	51,000
実績		9,223	16,518	1,348	9,567	2,825	2,185	3,041	3,631	3,221	5,415	3,775	4,661	65,410
		不燃ごみ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		1.00	1.00	1.00	1.00	2.20	1.00	7.80	7.80	11.80	7.80	7.80	7.80	58.00kg
実績		4.00	3.80	4.20	3.80	8.60	3.80	7.80	7.80	11.80	0.80	0.80	0.80	58.00kg
		事務用品グリーン購入率												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%	71.0%
実績		26.0%	78.0%	37.0%	95.0%	92.0%	71.0%	94.0%	87.0%	6.0%	99.0%	92.0%	90.0%	60.0%
		可燃ごみ排出量												87%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	8.0	7.0	7.0	10.0	10.0	7.0	7.0	98.00kg
実績		7.0	6.7	7.4	6.7	7.3	6.7	7.2	6.7	9.3	9.5	6.7	7.2	88.40kg
		資源ゴミ												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目標		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	
実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

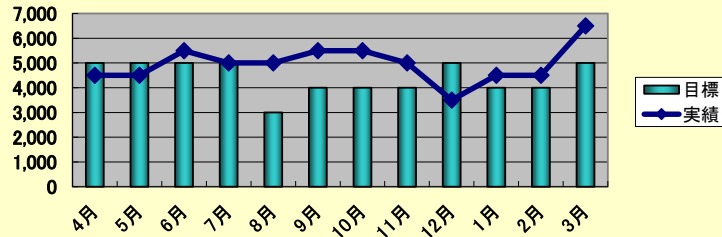
本社 電気使用量(2017年度)



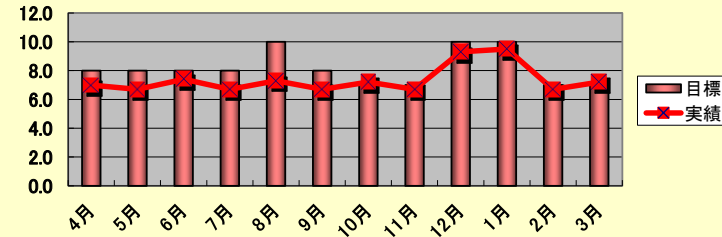
本社 不燃ごみ排出量(2017年度)



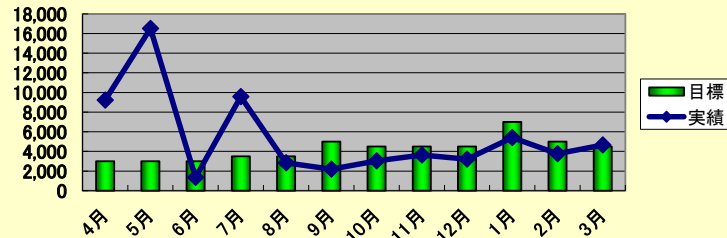
コピー用紙使用量(2017年度)



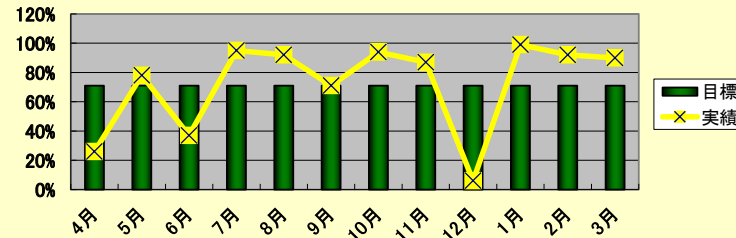
本社 可燃ごみ排出量(2017年度)



環境配慮型商品販売(2017年度)



事務用品グリーン購入比率(2017年度)



資源ゴミ(2017年度)

